

NUHW
SPORT Magazine003

光る演舞の原点



光る演舞の原点

— よさこい部 舞桃会 —

観る者を魅了する、光を放つような笑顔と元気あふれる演舞の原点に迫る。

文章：Mami Sato

創部6年目を迎えた新潟医療福祉大学よさこい部「舞桃会」。桃迎会、伍桃祭等の学内イベントでも行われる演舞を見たことのある人も多いのではないだろうか。9月19日から21日までの3日間、新潟市万代・古町地区を中心に行われたいがた総踊りでも、笑顔と元気あふれる演舞で見ている多くの人たちの心を躍らせた。人々を魅了する、光を放つような笑顔と元気あふれる演舞の原点に迫りたい。

共に作り上げる魅力

「踊れる曲が流れたときにみんなが集まってくるのが楽しい」「よさこいが楽しいのはもちろん、そこに集まった仲間という時間が楽しい」そう話してくれたのは、今回インタビューを行った部長の田中美菜保さんと副部長の小幡葉月さん（共に理学療法学科2年）。舞桃会の部員の中には、普段はおとなしい印象の子も多いという。しかし、練習中音楽が鳴り始めた途端に、目を輝かせて踊る光景は、部員一人ひとりが根っからの踊り人であることを感じさせた。

部員の多くは大学に入学後、先輩の舞桃会の演舞を実際に見て、心を動かされ入部を決意した。百名を超える部員のほとんどがよさこい初心者だ。また、常に練習を見ている指導者はいない。演舞は先輩から後輩へと指導を行い受け継がれていくことで作られている。舞桃会の光を放つ演舞の原点はここにもあるのではないだろうか。指導者がいないからこそ上下の関係も強



固なものになり、演舞への思い入れも強くなっている。よさこい自体はもちろん、仲間と共に演舞を作り上げる「舞桃会のよさこい」に魅力を感じ、取り組んでいくのだろう。

楽しむことに妥協しない

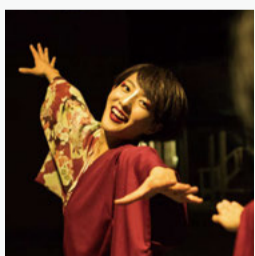
舞桃会が好きだという気持ちは、いがた総踊りを控えた夏休みのハードな練習にも身体を向かわせた。平日は毎日、朝の9時から夕方4時まで練習を行った。1・2年生が中心に活動を行うため、2年生は短い時間の中で1年生に踊りを教えなければならない。舞桃会は様々な学科の学生によって構成される。授業があるときはなかなか全員が揃って練習を行うことができないため、夏休みの練習がハードになるのは仕方ないことだった。「今はきついかもしれないけど、今、頑張りぬいて総踊りで『あー！楽しい！』と思ってくれらうれしい。練習中は声を出すことで自然と楽しく、気分も盛り上げていきたいです。そうすることで自然と笑顔になっていくと思います。本番ではその自然と出た笑顔でお客さんにも笑顔になってほしいです」夏休み中の練習真っ只中、田中さんはそう話した。一人ひとりがよさこいと舞桃会が大好きだからこそ、楽しむことに妥協しない、「楽」ではない、「本気」の楽しさを求める姿勢が見ている人々を魅了する「光る演舞」の原点になっていた。



笑顔の光

舞桃会は学外での活動としていがた総踊り以外に、地域の各種活動にも積極的に参加する。ここでは、演舞を披露するほかにも、見ている人達を巻き込んで一緒に踊ることも行っている。老人ホームでの活動の様子について2人は「すごく楽しそうに見てくれます。踊り終わると『もう一回！もう一回！』とアンコールをしてくれるのもうれしいです。座りながらも一緒に踊れるものもあるので、みんなで踊るのは楽しいですね。」とこやかに答えてくれた。見ている人たちの楽しそうな表情を見ることが、よさこいをしていて嬉しくなる瞬間でもある。舞桃会の笑顔と元気が見ている人たちの心を楽しくさせ、見ている人たちの笑顔や楽しそうな表情が、部員にとって楽しく踊る力となっていた。誰かを楽しませることができるとき、自分たち自身の世界をさらに楽しくすることができると。学内だけでなく、学外で多くの人と関わる活動が、部員たちの笑顔と演舞をより一層光らせる力になっていた。

よさこいに取り組む根本が何よりも「楽しむ」ことにある舞桃会。本気の楽しさを炸裂させる笑顔と元気のあふれる演舞は、これからも多くの人の心を魅了し、元気つける光となるだろう。ぜひ、舞桃会のこれからの注目してほしい。



副部長：小幡葉月
理学療法学科2年 六日町高校出身



部長：田中美菜保
理学療法学科2年 柏崎常盤高校出身



よさこい部 舞桃会

創部6年目 部員数約100名
2014年にいがた総踊りで超人賞を受賞。
週に2回C棟前にて練習を行っている。

走った後の達成感
津藤 潤矢



RUNNING

CYCLING



自分の
力だけで進む。
伊藤 憲哉

どんな時も全て
分かち合える瞬間
長谷川 玲子



SUPPORTER

テニスにはない
打球感と爽快感!
高瀬 日菜子



夢
中にくれ
させてくれる
清水 裕樹

BEACH TENNIS

MY SPORT LIFE

スポーツがわたしに教えてくれること

自分のスタイルで
楽しむ
森山 慶生



SKATEBOARD

違う自分が
見つかる!!
熊倉 雅



DANCE

KUDO



自分を磨く
渡辺 温大

日常から距離を置くことの意味 非日常の中でしか味わえない自分探し

特別な時間を過ごす

皆さん、音楽フェスティバルと聞くとどんなものを頭に思い浮かべますか？新潟でもいくつかの大きな野外フェスが開催されていますし、参加したことのある人も多いと思います。ここでは、私たち製作スタッフが実際に参加してきたニューアコースティックキャンプ（通称・ニューアコ）について紹介したいと思います。ニューアコは、9月12・13日に群馬県水上高原のゴルフ場で開催され、山とキャンプと音楽が、「そこに同じく在る」アウトドアイベントです。数日間に渡り熱狂的に繰り広げられるロックフェスティバルとは一味違います。テーマは「わらう、うたう、たべる、ねっころがる」。広大な自然に囲まれた非日常の雰囲気音楽が加わることで、最高の味わいを醸し出すフェスです。また、ゴミ捨てのお願い等、最低限のルールのみで主催者側を含めた参加者一人ひとりが主体性をもって行動している点も他のフェスとは一線を画しています。

そこには、日常生活の疲れやストレスを忘れさせる、すべての人が笑顔になれるおとぎ話の中のような世界が広がっていました。音楽は、思い切り楽しむための要素の一つではありますがありません。思わず走り出したくなるような、フリスビーを投げたくなるような自由でゆったりとした空間があり、特別な時間を過ごすことができます。参加者が各々好きなことをしながら心地良いアコースティックライブを聞く、その姿からは自由に生き生きとした人間のエネルギーを感じ取ることが出来ました。

非日常から学んだこと

今回、私は物販スタッフとして二日間を過ごしました。グッズを求める長蛇の列に苦笑いを浮かべ、対応しても対応してもやってくるお客さんを前に、時間が経過しているのも感じませんでした。しかし、並ぶことにもイライラせず我慢してくれるお客さん、そして買い求めた後の「ありがとう」という言葉には、感謝の気持ち以上に元氣まで貰うことができ、充実した二日間を過ごすことができました。

ニューアコは、山とキャンプと音楽に囲まれた、日常にはないリアルな空間に満ち溢れ、参加者、スタッフ、そしてアーティスト、立場が違っても空間を同じく享受した仲間として一体感を感じさせる素晴らしいキャンプです。私は来年参加することを今から決めていますが皆さんにも来年の予定に入れてもらって、是非とも楽しんでもらえたら嬉しいです。



文章：Fumiya Tachibana



SPORT LOCAL

— サイクリングで知る私の街 —

SPORT Magazine でとりあげる秋といえばもちろん、スポーツの秋！みなさんは大学がある新潟市北区のことを知っていますか？北区に住んでいるみなさんでも、遊ぶ時は新潟駅周辺に行ってしまう人も少なくないはず。この特集では自転車でいける北区のオススメスポットを紹介！

文章：Kanao Matsuda

02 葛塚市

毎月1、5、10、15、20、25日の8:30～14:00頃に開かれる。130～150の露店が立ち並び、多い時には250店舗も！食料品だけでなく花や衣料品など品ぞろえも充実。見て回るだけでもとっても楽しい。商品もお手頃価格で市場の方々はとてめさくで優しい人たちがばかり！ぜひ、時間があるときに葛塚市でお買い物してみたいか？掘り出し物が見つかるかもしれませんよ。



葛塚市で笹団子を販売しているおじさんたち

01 レンタルサイクル

豊栄駅構内にあるヤマザキショップでレンタルサイクルの手続きをすることができます。利用期間は3月～11月、時間帯は9時～17時（4月～10月は18時終了）です。料金は無料。手続きも名前や住所、電話番号など書くだけなので簡単に借りることができます。実際にスタッフは、レンタルサイクルを利用してサイクリングに行っていました。

レンタルサイクルを借りて駅を出発！



04 雁かけ橋

福島潟に冬やってくる雁を由来にしたのかも。渡るときに願いをしたら叶うかな？また、ここから眺める福島潟の風景もオススメです！



願い事をしながら渡ってみよう！

03 さくら通り

春になると桜の木が道を覆ってくれます。提灯も点灯し、とても幻想的な雰囲気。おすすめはもちろん春ですが、それ以外の季節にいつでも自然を感じられる道になっています。



木漏れ日が気持ちいい！

06 湯想いポスト

とても素敵な名前のポスト。この旅の最後に好きな人や家族など大切な人に手紙を出してみたいか？このポストにいれるとより深く相手に想いが伝わりそうな感じがしますね。私も大好きな人に、ここからファンレターを出そうかな…(笑)



05 雁晴れ舎

野鳥の観察ができる施設です。望遠鏡や野鳥の図鑑が完備されていて屋上からの景色も最高！どんな季節にどの野鳥が観られるのかも教えてください。鳥好き、バードウォッチング好きにはたまらないスポット！雁晴れ舎の前には福島潟を散歩できるコースも広がっています。ここはスタッフの一押し！！とっても広くて分かれ道が多いえに背丈くらいある草に囲まれるため、迷子には要注意です！

自然を感じてリフレッシュ♪



07 メタセコイヤ通り

約3メートルの高さがあるメタセコイヤの木が1kmほど続く並木道、新・日本街路樹百景にも選ばれています。私は普段よくここを通っていますが、大体バイト前で慌ててこの通りを走り抜けるから…。ちょっと顔を上げて通ってみると綺麗に整備され、木も心なしか元氣なように感じ、とても清々しい気持ちになります。



私は豊栄に住んでいますが、この記事を書くにあたっていろいろ調べてみると、地元でも見所がたくさんあることに気づきました。自分の住んでいる街を探ることで、まだ見ぬ魅力や偶然の出会いがあるかもしれません。みなさんも休日にはサイクリングを楽しみながら、自分たちの街の魅力を再発見してみませんか？

がんばっていきまっしょい

監督：磯村 一路
主演：田中麗奈
制作年：1998年

現存するボート競技の強豪校松山東高校（映画の中では伊予東高校）を舞台とした小説（敷村良子著）を題材とした映画。後に、テレビドラマにもなりました。製作担当者に周防正行氏が連ねる豪華な布陣で作られました。この映画のプロデューサーチームは後に「ウォーターボーイズ」「スウィングガールズ」などのヒット作を連発しました。この映画を見ると、ボートを“ちょっとだけ”漕ぎたくなります。



七帝柔道記

著者：増田 俊也
発行年：2013年

北海道大学柔道部を舞台にした自伝的小説です。旧帝国大学だけで争われる七帝戦の柔道競技（七帝柔道）を舞台に、スポーツの楽しさが描かれています。七帝柔道は柔道全体にとって非常に小さいものであること、七帝柔道が独特なルールによるものでそれが一般には一切通用しないものであること、そこにある不条理さ、を十分に理解しながらも熱狂していく若者の姿が描かれています。スポーツの原点がそこにあります。汗臭くて、滅茶苦茶だけど楽しいスポーツの世界が味わえます。

SPORT & ART

My Favorite Book & Movie

「芸術の秋とスポーツの秋を一気に満喫したい!」「普段スポーツをしない人の体を動かすきっかけをつくりたい!」「毎日部活に励む人の力になりたい!」そんな思いでこの企画を考えました。みなさんは秋といえば何がたくなりますか?食欲の秋、スポーツの秋、芸術の秋...。涼しい季節になって感受性や繊細さが高まっている今、物事に熱中してみるのはどうですか?そこで今回は、「スポーツがしたくなるような芸術作品を教えてください!」と健康栄養学科の准教授であり、日本ボート協会強化委員(ナショナルチームスタッフ)でもある澁谷顕一先生に尋ねてみました!!

文章：Rino Nagata



澁谷 顕一 Kenichi Shibuya

健康科学部 健康栄養学科 准教授
日本ボート協会強化委員
(ナショナルチームスタッフ)

「スポーツがしたくなる芸術作品(本・映画・音楽)を紹介して欲しい」と依頼されました。ただ、スポーツを指導する立場になってすでに10年以上が経っており、自身でスポーツをすることが「一切」ないので、このテーマの執筆者が僕でいいのかどうかはわかりません。僕が関わっているボート競技のナショナルチーム内で流行っている本と、ボート競技を題材にした映画を紹介させていただきます。

「今回先生に紹介していただいた芸術作品を是非みなさんも楽しんでみてください。あなたの心にグッとくる作品かもしれません。そして、きっとみなさんもまだ出会っていないスポーツや芸術、知らない世界がたくさんあるでしょう。スポーツの楽しさはさまざまな方法で感じ、知ることができます。その大切さを知ったとき、あなたの生活を豊かにし、知らない世界に連れて行ってくれるでしょう。」

SPORT PEOPLE OG・OB



未来に繋がる
将来のことを考えるよりも目の前のごことを全力でこなしていけば将来はおのずとついてくるもの。今の積み重ねが未来に繋がっていくと力強く語ってくれた。インタビュを通して、その言葉を体現し、自らの生活をより豊かにしているのが感じ取れた。4年間という短い大学生活の中で、今の自分に何が出来るのかを見つめ直し、目の前のことに全力で取り組むことの大切さを亀倉さんから学ばせてもらった。

未来に繋がる

突き進む力
インドでヨガの資格を取得し、教室も開いている亀倉さんだが「自分はまだまだ知らないことがたくさんある。この先ももっとヨガを学びたい」と人並みならぬ向上心を持っていった。自身の「ヨガ」「道」を極めるべく、来年もう一度インドへ学びに行くと言った。自分の信念を曲げず、突き進む力こそが今の彼女を形作っていると感じた。

突き進む力

インドに着いてからも食事でお腹を壊したり、シャワーから泥水が出たり、部屋から虫が湧いてきたりと日常生活から苦難の連続だったが、決して屈することなく想いを形にすることを彼女は貫いた。

「一度決めたことはやる」と語ってくれた亀倉さん。卒業後は県体協の仕事に就いたが、ヨガを本気で学び、資格を取得したいと思い、県体協の仕事を辞め、ヨガの本場インドへ行くことを決めた。同僚や上司からは「インドは危険だぞ、心配だ」と言われ続けてきた。両親からも反対を受けたと言った。しかし、彼女の思いは決まっていた。自分のヨガへの想いを同僚や両親にぶつけ、反対を押し切ってインドへと向かった。

日本のヨガ・インドのヨガ

「話すこと、食べること、呼吸をすることもヨガなんです」と、ヨガの本場であるインドで半年に渡って自身が体得したことを語ってくれた。



亀倉 桃野 MOMONO KAMEKURA

健康スポーツ学科1期生。大学卒業後、新潟県体育協会に就職。4年間働いた後、単身でインドへ渡り、インド政府公認のヨガの資格を取得。帰国後、現在はヨガの普及のためヨガスペース8で勤務している。

文章：Narito Watanabe

ボランティア精神を学ぶこととは？

Voluntary 手話部

心を繋ぐ 未来を繋ぐ



「Voluntary」とは、「自発的である」という意味で、自由意志から出た」という意味である。手話は、耳の不自由な人たちが同じ障害のある人や周りの人とコミュニケーションを円滑に行うために、指や手の表情で自分の気持ちを伝える手段である。聾者同士、聾者と聴者を繋ぐ手話は、音声言語や文字言語と同じようなコミュニケーションのひつこだ。

今回取材した新潟医療福祉大学手話部は、耳に障害を持つ人と意思疎通をはかるために手話を学んでいる。耳の不自由な人のことを考え、自ら手話を学んでいる部員たちはどのようなVoluntary精神を持っているのだろうか。

手話を通しての成長

「自分にとって手話とは、音声言語や文字言語と同じくらい大切なコミュニケーションツール」とそう答えてくれたのは、新潟医療福祉大学手話部部長の加藤静夏さん（言語聴覚学科2年。高校時代、部活で手話を学んでいた加藤さんは、実際に障害者が参加している運動会で、聾者と初めて手話で会話をした時に、相手がとても喜んでくれた。それがうれしくもっと手話を学びたいと思い、本学の手話部に入部を決めた。また、「前は自分の考えを表現することが苦手だったけど、部活に入り聾者の方と手話で会話するうちに、自分の考えを相手に伝える方法を学び感情表現が豊かになった」と話してくれた。

部員たちは、聾者の生活を少しでも豊かにするために手話を学んでいる。聾者と会話をするうちに、部員は感情表現やコミュニケーション能力などが高まっている。相手のことを考えて行動していく中で、部員は自己の内面的な成長に繋がっている。

視野を広げる

副部長の田村美穂さん（社会福祉学科2年）は「実習中に聴覚障害の方と出会い、実際に手話で会話することができた。この部活に入っていたからこそできることだと実感した」と話してくれた。社会福祉学科の介護コースでは、カリキュラムに手話の授業が組み込まれている。将来、児童福祉や高齢者福祉など、どの分野に



進んでも、少なからず耳の不自由な人がいるが、手話を学ぶことで、彼らとコミュニケーションを図ることができる。意思疎通を図ることは、結果的に自己の視野を広げ、知らない新たな世界を見出すことに繋がっていると感じた。

繋がる手話

今回手話部の取材をして、手話は、聾者と聴者、聾者と聾者という「人と人とを繋ぐ」ものだけでなく、自分の成長に繋がるもの、自分の将来に繋がる「今と未来を繋ぐ」手段のひとつであるということも教えてくれた。

相手のことを考え何かを学んでいくうちに、それが自分の力にもなり、新たな世界と繋がっていく。このような考え方もVoluntary精神のひとつであるのではないだろうか。

手話部

文章：Ryota Sato

部員総数24名（男子1名 女子23名）
毎週木曜日18時から1棟101で手話の練習や手話検定の勉強を行いながら、学外でも老人ホームや特別支援学校などで積極的にボランティア活動を行っている。



副部長：田村 美穂
社会福祉学科2年
新潟県立江南高校出身



部長：加藤 静夏
言語聴覚学科2年
山形県立鶴岡中央高校出身

GO FIGHT!
feat. YOU!

NUHW SPORT 応援 SCHEDULE

GO FIGHT!
feat. YOU!

水泳部	10月25日(日)	JSS フリッカーズカップ 水泳競技会	ダイエブプロビス フェニックスプール	女子バレー ボール部	10月17日(土) ～10月18日(日)	天皇杯皇后杯 北信越ラウンド	三国体育館(福井県)
	11月22日(日)	新潟県協会親善公認記録会	新潟市西海岸 公園市営プール		10月31日(土) ～11月1日(日)	秋季北信越大会	富山県
男子バスケット ボール部	10月15日(木) ～10月18日(日)	北信越大学バスケットボール 選手権大会(インカレ予選)	松本市総合体育館 (長野県)	男子バレー ボール部	11月30日(月) ～12月5日(土)	全日本大学バレーボール 選手権大会(インカレ)	愛知県
	10月24日(土) ～10月25日(日)	北信越総合バスケットボール 選手権大会	いしかわ総合 スポーツセンター(石川県)		10月23日(金) ～11月1日(日)	秋季北信越大学 バレーボール大会	富山市総合体育館
	11月23日(月) ～11月29日(日)	全日本大学バスケットボール 選手権大会(インカレ)	国立代々木競技場 第2体育館他(東京都)		硬式テニス部	10月13日(火) ～10月18日(日)	北信越学生新進 テニス選手権大会
10月15日(木) ～10月18日(日)	北信越大学バスケットボール 選手権大会(インカレ予選)	松本市総合体育館 (長野県)	11月21日(土) ～11月23日(月)	北信越学生室内 テニス選手権大会		WAVEのと(能登半島)	
10月24日(土) ～10月25日(日)	北信越総合バスケットボール 選手権大会	いしかわ総合 スポーツセンター(石川県)	バドミントン部	11月5日(木) ～11月7日(土)		北信越大学秋リーグ	富山県氷見市 ふれあいスポーツセンター
11月23日(月) ～11月29日(日)	全日本大学バスケットボール 選手権大会(インカレ)	国立代々木競技場 第2体育館他(東京都)		12月上旬	長野北信越大会	松本市(長野県)	
硬式野球部	10月第三週まで	関甲新学生野球連盟 秋季1部リーグ	上武大学・白鷲大学	軟式野球部	11月15日(日) ～11月20日(金)	東日本大学軟式野球 選手権大会	さいたま市 県営大宮公園野球場他
	10月末	関東地区大学野球選手権	横浜スタジアム (神奈川)		ハンドボール部	11月6日(金) ～11月11日(水)	全日本学生選手権大会
陸上競技部	10月25日(日)	全日本大学女子駅伝 対抗選手権大会	仙台市(宮城県)	NUHW SPORT Magazine		発行所 NUHW SPORT MEDIA 発行 年4回 nuhwsportmedia@gmail.com	
	10月31日(土) ～11月1日(日)	第17回 NUHW 競技会	本学陸上競技グラウンド				

※上記の試合内容は変更の可能性があります。詳細については各大会主催団体にお問い合わせください。また、NUHW SPORT MEDIA(ブログ)でも随時大会スケジュールを更新致します。